ツアー番号
LKD7NWA2QZ

コースト・アンド・ヒルズ（8日間）

8日間・7泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー



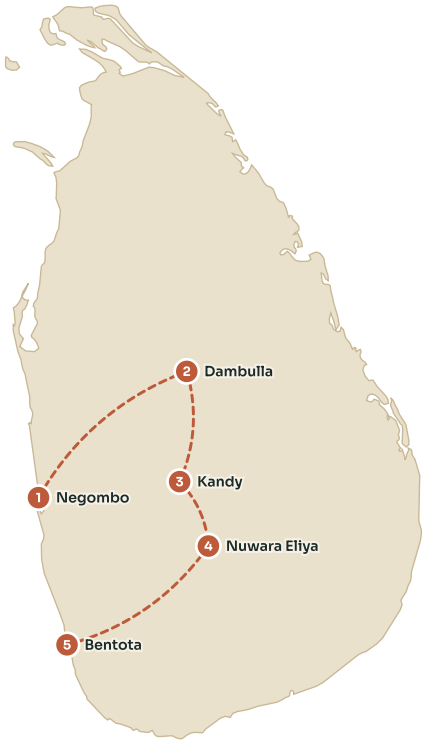
AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この8日間のツアーは西海岸のネゴンボから文化三角形を経由してキャンディへ、紅茶畑が広がるヌワラエリヤの山々へ上り、南西海岸のベントタとガレへ下ってから空港に戻ります。移動は始終、運転手兼ガイド付きのプライベート冷房付き車両で行われます。

ハイライトには、ダンブッラの洞窟寺院、シギリヤの岩の砦、牛車乗車とカタマラン・サファリを含むヒリワドゥナでの村落体験、マタレ近くのスパイスガーデン訪問、キャンディの仏歯寺とキャンディの文化公演、ヌワラエリヤ近くの紅茶工場ツアー、コスゴダ・ウミガメ孵化場、ガレフォート周辺の散歩、マドゥ川でのボート・サファリが含まれます。

ペースは歴史、文化、野生動物、海岸でのくつろぎをミックスし、低地の暑さからより涼しい山岳地帯へ、そして海岸へと戻ります。毎日の観光は次の宿泊地への移動に合わせて計画され、ホテルで休息するための自由時間が組み込まれています。



日程詳細

1日目　空港 → ネゴンボ

コロンボ空港到着後、専属のドライバーガイドがお出迎えし、ネゴンボへご案内します。チェックインしてひと休みした後、夕方には市内観光をお楽しみいただきます。



ネゴンボ市内観光

ネゴンボは西海岸に位置し、美しい砂浜と何世紀にもわたって続く漁業で知られています。マリンスポーツやサンゴ礁でのダイビングも楽しめ、沖合には50年前に沈んだ難破船があり、今では多くの魚種の生息地となっています。

AI生成画像・実際の写真ではありません

2日目 ネゴンボ → ピンナワラ → ダンブッラ

ネゴンボをチェックアウトし、ダンブッラへ向かいます。チェックイン後、夕方には石窟寺院を訪れます。



ダンブッラ石窟寺院

ダンブッラの黄金寺院は紀元前1世紀に起源を持ち、5つの主要な洞窟には釈迦の生涯を描いた古代の壁画と、何百体もの仏像や神像が安置されています。中には「神王の洞窟」「大王の洞窟」「新大僧院」などがあります。洞窟群から少し離れた場所には、巨大な黄金の仏像が立っています。

Lankapic · CC BY 2.5

3日目 ダンブッラ → シギリヤ → ミンネリヤ → ダンブッラ

この日は岩の要塞シギリヤと、ヒリワドゥナでの村体験に終日を充てます。



シギリヤ・ロック要塞

この5世紀の岩の要塞は、カーシャパ王の居城として築かれました。入口にはライオンの爪を模した階段があり、これが「ライオンロック」という名の由来となっています。登っていく途中には、保存状態の良い壁画や段々畑の庭園、今も機能する貯水槽、かつて王宮へ通じていたトンネルなどが見られます。

Wrobell · CC BY-SA 3.0

ヒリワドゥナ村めぐり

ヒリワドゥナは伝統的な暮らしを今も守り続ける村で、牛車に乗ったり、静かな湖をカタマランで渡ったり、水田地帯を散策したりすることができます。見学には伝統的な料理のデモンストレーションと、蓮の葉に盛られた家庭料理のランチも含まれます。

4日目 ダンブッラ → キャンディ

マータレーを経由してキャンディへ向かい、スパイスガーデンを訪れます。その後ホテルに到着し、夜には伝統舞踊の観賞をお楽しみいただきます。



マータレーのスパイスガーデン

スリランカ随一のスパイスの産地として知られるマータレー近郊で、スパイス・薬草園をガイド付きで巡ります。コリアンダー、チリ、シナモン、カルダモン、ナツメグなどのスパイスや薬草について、その伝統的な使い方やアーユルヴェーダとの関わりを学びます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



キャンディアン・カルチュラルショー

夕方には、宝石加工や木彫り、バティックといった地元の工芸に関する見学を行い、その後、色鮮やかな伝統舞踊や火の踊り、剣の踊り、太鼓演奏などからなるキャンディアン伝統舞踊ショーを観賞します。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

5日目 キャンディ → ヌワラエリヤ

仏歯寺を見学した後、ヌワラエリヤへ向けて山道を進みます。途中、ランボダの滝と紅茶工場に立ち寄り、到着後には市内観光をお楽しみいただきます。



仏歯寺

このユネスコ世界遺産は16世紀に建立され、釈迦の聖なる歯を安置・保護するために築かれました。赤、クリーム、黒で彩色された豪華な装飾の大広間、彫刻の施された柱、そして黄金の仏像が見られます。

A.Savin · FAL



ランボダの滝

ヌワラエリヤへ向かう途中、スリランカで11番目の高さを誇るランボダの滝に立ち寄ります。

A.Savin · FAL

紅茶工場見学

紅茶農園と工場をガイド付きで見学し、セイロンティーの品種や製法、品質について学びます。セイロンティーの歴史は1824年にペラデニヤで初めて茶の木が植えられたことに始まり、その後1852年からジェームズ・テイラーがルーレコンデラ農園で商業栽培を確立しました。



ヌワラエリヤ市内観光

標高約6,200フィートの茶どころの中心に位置するヌワラエリヤは、イギリス統治時代にイギリスの田園風景を再現した町として整備されました。ジョージ王朝様式やクイーン・アン様式の邸宅、英国国教会の教会、ゴルフコース、手入れの行き届いた公園などが残り、涼しく爽やかな空気と、どこか懐かしい雰囲気を漂わせています。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

6日目 ヌワラエリヤ → ベントータ

チェックアウト後、南西海岸のベントータへ向かい、途中でウミガメの保護センターに立ち寄ります。



コスゴダ・ウミガメ保護センター

南西海岸にあるこの保護センターでは、スリランカの海岸に産卵のために訪れる5種類の絶滅危惧ウミガメの卵を保護し、孵った子ガメの生存率を高める活動を行っています。見学者は赤ちゃんウミガメを見たり触ったり、餌やりをしたりできるほか、時には保護されている傷ついた成体のウミガメも見ることができます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

7日目 ベントータ → ガッレ → ベントータ

日帰りでガッレ要塞とマドゥ川のボートサファリを訪れ、その後ベントータへ戻ります。



ガッレ要塞

かつてポルトガルとオランダの統治拠点であったガッレ要塞は、アジアでも最も保存状態の良い要塞のひとつで、博物館や灯台、オランダ語由来の名前が今も残る石畳の街路が見られます。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0



マドゥ川ボートサファリ

バラピティヤでは、マングローブに囲まれたマドゥ川の水路をボートで進み、日光浴するワニやオオトカゲを眺めたり、シナモンが栽培されている小島を訪れたりします。フィッシュマッサージやバードウォッチングを楽しむこともできます。

SUPindia · CC BY-SA 4.0

8日目 ベントータ → バンダーラナーヤケ国際空港

朝食後、チェックアウトし、空港へ送迎してご出発となります。

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, Fuel, Parking & Highway tolls.
- Service of English-Speaking Chauffeur Guide.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation and Meals.
- Entrance fees to the respective sites.
- Chauffeur Guide's Accommodation.
- Expenses of personal nature.
- Visa and Related Expenses.
- Tips & Portages.